



しずおか

静岡県

- 静岡県は、農業者の高齢化・減少等に伴う集落機能の低下と担い手の不足等から農地や農業用水等の資源の保安全管理が困難になっている状況や農村の自然環境や景観の保全・形成等の農業の持つ多面的機能の発揮への県民の要請を踏まえ、多面的機能支払交付金を積極的に推進している。
- 人口減少や高齢化が加速的に進む農村では、農村の活性化に関わる多様な外部人材などの関係人口を拡大していくことが重要となっている。農村の活性化や新たなビジネスを創造するスキルやアイデアを有する企業、大学等の情報と農村の要望や課題を共有する場となるプラットフォームを新たに創設した。

【静岡県概要】

- ・認定農用地面積 14,409ha
(田6,521ha、畑7,881ha、草地6ha)
- ・農用地面積に対するカバー率 25.9%
- ・活動組織数 232組織
(うち広域組織14組織)

活動開始前の状況や課題

- 人口減少や高齢化が加速的に進む農村特に中山間地域では、農地や農業用水路等の地域資源の保全・活用を担う集落機能の低下が危惧されている。



水路の泥上げ



水路の草刈り

取組内容

- 企業、大学等の情報と農村の要望や課題を共有する場となるマッチング支援サイト「むらマッチ」を公開した。
サイトでは、「魅力的な地域資源と合わせて課題を持つ農村」「得意分野・アイデア・ノウハウを持つ企業等」「協働の事例」を探ることができる。



また、『気になる農村、企業等』や、『こんな取り組みが自分たちにも出来ないかな?』を見つけて農村と企業のマッチングが可能となります。

取組の効果

- 企業が地元の取り組みに共感し、地域密着企業としてコミュニティーの活性化に寄与すべく、地区の景観整備活動(草刈り)に社長を含め社員14名が参加。



企業と連携した草刈り

区分	希望数	主な内容(期待すること)
多面組織	25組織 (見込み)	農地の保全活動の人手
企業等	50社 (見込み)	農作業支援、景観保全、草刈り